

国語教育相談室

102

小学校



特集

言葉による見方・ 考え方を働かせる

■わたしたしとことば
逆境のときにどう生きるかで、
人間の真価は決まる 道下美里

■いっしょに学ぼう
日本語を学んでいる児童の
学習参加 前編

■書写

文字を書く過程に対する理解/
未来の先生からの疑問をずばっと解決

■クイズ

カンジー博士
の挑戦状

逆境のときに どう生きるかで、 人間の真価は決まる

東京パラリンピックの延期が決まったとき、思い起こした言葉があった。「逆境のときにどう生きるかで、人間の真価は決まる」きついとき、苦しいときに、私の背中を押してくれるこの言葉は、盲学校時代のクラスメイトにもらったものだ。

盲学校に通っていた二十七歳のときのこと。私は、一年後に待つ鍼灸マッサージ師の国家試験に向けて、クラスメイトとファミレスで勉強をしていた。当時の私は、中距離走のランナーとして陸上の世界大会を目指していたが、練習と勉強の両立に難しさを感じていた。クラスメイトに勉強を教えてもらっている中で、気づけば私は弱音を漏らしていた。

その帰り道、クラスメイトが、先ほどの言葉を言った

のだった。私の負けず嫌いな性格を分かって、言ってくれたんだと思う。順風満帆のときは、うまくいく。そうじゃないときに、どう生きるかがすごく大事なんだ。それから、その言葉は、いつも私を後押ししてくれるようになった。

東京パラリンピックの延期は、私にとっても大変なことだった。パラリンピックに合わせて体を上げてきた。さらに一年もたないぞ。直面した逆境に、私はクラスメイトの言葉を思い起こした。

あと一年半で、できることは何だろう。発想を切り替えた私は、それこそ知恵熱が出るほどに考え込んだ。新型コロナウイルスの感染状況によっては、できることが限られてくる。週に四日、仲間とともに朝四時に出発して、誰もいないサルが出るような山へ走りに行った時期もあった。緊急事態宣言のときには、体力を落とさないために一人でできることをしようと、点字ブロックがある道路をひたすら歩き続けた。振り返ると、いつも以上に仲間を支えられ、自分に向き合って過ごした時間だった。

そして、優勝したあの日。これまでの人との出会い、そして、この日までともに走った仲間を思うと、手にした金メダルは重かった。

（聞き手・編集部）



1977年、山口県下関市生まれ。2021年、東京パラリンピック女子マラソンT12（視覚障がい）に出場し、記録3時間00分50秒で金メダルを獲得した。2022年1月15日現在、同クラス世界記録保持者（2時間54分13秒）。著書に『いっしょに走ろう』（芸術新聞社）。三井住友海上所属。

CONTENTS



表紙イラスト 飯田研人

02

特集

言葉による見方・考え方を働かせる

「言葉による見方・考え方を働かせる」って？ ● 輿水かおり

青山先生の授業解説！——「思いやりのデザイン」(四上) ● 青山由紀

10

■ いっしょに学ぼう3

日本語を学んでいる児童の学習参加 前編
「理解すること」を支援する ● 浜田麻里

12

■ 文字を通した子ども理解3

文字を書く過程に対する理解 ● 松本仁志

14

■ 教えて！先輩1

未来の先生からの疑問をずばっと解決 ● 四国大学文学部書道文化学科×藤井浩治

16

■ クイズ

カンジー博士の挑戦状 ● 阿辻哲次



特集

言葉による

見方・考え方を働かせる

新しい学習指導要領の完全実施から二年が経ちました。今号の特集では、
興水かおり先生（元玉川大学客員教授）のお話、青山由紀先生（筑波大学附属小学校教諭）の授業をとおして、
あらためて、子どもたちが「言葉による見方・考え方を働かせる」ための手立てを探っていきます。

「言葉による見方・考え方を働かせる」って？

興水かおり

学習指導要領解説 国語編には「言葉による見方・考え方を働かせる」とは、児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること」と説明されています。ちよつと、この一文を（言葉による見方・考え方を働かせて）捉え直してみよう。

「言葉による見方・考え方を働かせる」とは、児童の「言葉への自覚を促す」ということにつながると考えています。「言葉と言葉との関係」とは、発達段階に応じて、語と語のつながり、文と文のつながり、文章と文章のつながりと発展していくものです。指導者自身が、一つ一つの言葉の意味や働きや使い方を的確に捉える力を鍛えることが大切ですね。

「言葉と言葉との関係」とは、発達段階に応じて、語と語のつながり、文と文のつながり、文章と文章のつながりと発展していくものです。指導者自身が、一つ一つの言葉の意味や働きや使い方を的確に捉える力を鍛えることが大切ですね。

誰が……児童が
どこで……（どの場面）……学習の中で（家庭学習や授業中）

何を……対象と言葉、言葉と言葉との関係を
どのように……言葉の意味、働き、使い方等に
着目して、捉えたり問い直したりして

どうする……言葉への自覚（言葉はおもしろいな・役立つな・使ってみたいな）を高める

いちばんわかりにくいのはどこでしょう。

「何を・どのように」でしょうか？

具体的な例で考えてみましょう。「一つの花」（四上）に、「でも、今、ゆみ子のとんとんぶぎの小さな家は、コスモスの花で

接続詞が使われている。この前の内容とは逆の展開があるのだな。

戦後間もない粗末な家、決して裕福とはいえない暮らしぶり。

でも、今、ゆみ子のとんとんぶぎの小さな家は、

コスモスの花でいっぱいに包まれています。

あつ、あの時もコスモスだった。

一輪のコスモスだったはず。

なぜ、「咲いています」ではなく「包まれています」なのだろうか？ もしかしたら……



興水かおり

広島県生まれ。元玉川大学客員教授。23年の教員生活の後、港区教育委員会指導主事、東京都教育庁主任指導主事、小学校校長、玉川大学客員教授等を務める。光村図書小学校『国語』教科書編集委員。

青山先生の授業解説!

——「思いやりのデザイン」(四上)

筑波大学附属小学校教諭

青山由紀

青山先生に、「言葉による見方・考え方を育む手立て」という観点から、「自身の授業を解説していただきました。」



筑波大学附属小学校教諭。日本国語教育学会常任理事。全国国語授業研究会常任理事。著書に『「くちばし」「じどう車くらべ」「どうぶつの赤ちゃん」全時間・全板書』(東洋館出版社)、『こくこの図鑑』(小学館)などがある。光村図書小学校『国語』『書写』教科書編集委員。

「思いやりのデザイン」は、通常は、一時間で扱うことが想定されていますが、今回は、二時間の授業を構想しました。第一時は、文章構成について、第二時は、筆者の例示の工夫について考えていきます。

今回は、「初め」「中」「終わり」の文章構成について自分たちで考えさせたかったので、教科書の文章構成を示すバーを抜いたものをプリントとして用意しました。また、プリントからは、二つの案内図もあらかじめ抜いておきました(※)。なんとなく読むのではなく、資料と言葉を照らし合わせて読む体験をしてほしかったからです。ヒントになる言葉を文章から探して読み、それを言葉で説明する学習活動を第一時に設けました。

第二時では、「対比」という抽象的な言葉

をどう子どもたちに理解させるかを主眼に取り組みました。

- 第一時**
- 1 題名を読む
 - 2 教材文を読み、文章構成について考えを出し合う。
 - 3 どちらの図がどの段落に対応するか考える。

- 第二時**
- 1 第三・四段落の事例を詳しく読む
 - ・ Aの図の事例は、どんな立場の人に役立つか
 - ・ Bの図の事例は、どんな立場の人に役立つか
 - 2 文章構成をおさえる
 - 3 対比の例示をおさえる



※1… の部分を除いたプリントを用意

第一時

1 題名を読む

授業が始まり、今日は何をするのかわくわくした様子の子どもたち。まずは、黒板に「思いやりの」と書き、子どもたちに聞いかけます。

- 青山** 「思いやりの」の後には何が続くと思う?」
- 児童** 「心」
- 児童** 「気持ち」
- 青山** 今回は、「思いやりのデザイン」という題名です。
- 児童** そういうことか。
- 青山** どういうことかな。
- 児童** 障害がある人にもわかるデザインについての話だと思う。
- 児童** 物じゃなくて、思いやりですることについてだと思う。

子どもたちは、思い思いに文章の内容を予想し始めました。

ここがポイント!



題名の言葉に着目し、読みの構えをつくる

最初に、題名を全部書かずに「思

いやりの」とだけ書いて子どもたちに聞いかけました。「思いやり」は、子どもにとっては人に対する気持ちに使う言葉。それが「デザイン」という言葉とあわさったときに、どういうメッセージになるか、それが筆者の主張につながります。

四年生になると、筆者の主張が題名に表れる教材文が多くなります。題名の言葉に立ち止まり、着目することで、筆者の主張を予想して読むための構えをつくることができます。

低学年の教材文では、題名に説明される事物そのものが表れていることが多いので、題名の言葉と自分の経験や知識とを結び付けて読む構えをつくりやすいです。低学年、中学年と経験を重ねることで、題名の言葉から内容を予想しながら読むことができるようになると思います。

2 教材文を読み、文章構成について考えを出し合う

教材文のプリント(※)を配布し一段落ずつ音読した後、「初め」「中」「終わり」

の分け方について話し合いました。子どもたちからは、「初め」を第一段落とする意見と、「初め」を第一、第二段落とする二つの意見があり、第二段落に何が書かれているかに着目することになりました。

- 児童E** 第一段落はインフォグラフィックスについての説明で、第二段落は、木村さんだけが思っていることを書いていると思う。
- 青山** Eさんは、第二段落は一般的なことではない、木村さんが思っていることだと言っていたけど、どこからそう思ったのかな。
- 児童** 「わたしには」と書いてある。
- 教室に投影した教材文の「わたしには」を青で囲み、第二段落には筆者の考えが書かれ、話題が提示されていることをおさえました。

ここがポイント!



筆者の考えをおさえるときは主語や文末表現に着目

第二段落に筆者の主張が書かれていることをおさえるため、主語や文

未表現を確認しました。三年生までの説明文では、筆者が前面に出てくることが、あまりありませんでした。筆者である「わたし」の主張が前面に出てくるのが、四年生からの説明文の特徴ですね。

③ どちらの図がどの段落に対応するか考える

AとBの記号を消した二つの案内図(※2)を配りました。たくさん子どもが手を挙げ、どちらの図が本文の案内図A・Bに対応するか、自分の考えと理由を発表しました。

児童M 右の図には、バス停とか本屋とかが載っているけど、左の図には載っていないでしょう。この道順の近くの道しか載ってない。だから、中央小学校に行きたい場合は、どこから行ったらいいかわからない。初めて来た人は、右の図だといっぱい道があるから迷う可能性がある。だから右の図がA、左の図がBだと思う。

第二時

① 第三・四段落の事例を詳しく読む

青山 第三段落から事例を使った説明が始まります。Aの図の例だね。この図は、どんな立場の人にとって役立つのかな。

児童 目的地はまだ決まっていなくて、この街に初めて来た人たちに役立つ。

青山 ということは、逆に言うって？

児童H 目的地が決まっている人にとっては見にくい。

青山 それは、Hさんが思ったこと？

児童H 教科書に、「しかし、目的地が決まっている人にとってはどうでしょう。——まよってしまったり、もしかたありません。」と書いてあるよ。

青山 証拠が書いてあるね。「しかし」を青で四角く囲んでおいてください。

教室に投影した教材文の「しかし」を青ペンで囲みました。

青山 じゃあBの図の例は、どんな立場の人にとってよかったのかな。証

青山 Mさんは右の図は建物がいっぱい載っていると聞いたんだよね。左の図は……。

児童 矢印！

青山 教科書にはなんて書いてある？

児童 道順。

青山 さっきMさんも道順が載っているって言うっていたね。教科書には書いてないけどこの人はどこからどこへ行くこうとしているの？

児童 中央駅から中央小学校。

青山 左の図は、中央駅から中央小学校へ行く人にとってはとてもわかりやすいということですね。

本文をしっかり読み、納得した子どもたち。案内図をそれぞれプリントの対応する箇所に貼りました。

ここがポイント！
子どもが言葉に着目するしかけをつくる

子どもたちは、どの図とどの文章が対応するか考える中で、文章から手がかりになる言葉を見つけようとします。最初から図があるとなんとなく読んでしまいますが、こうした

児童 拠も含めて考えてください。

児童 Bの案内図は、Aの案内図と違って、道順が書いてあるから、絶対に中央小学校へ行くという目的が決まっている人にとっては見やすい。

児童 同じ意見なんだけど証拠があつて、……。

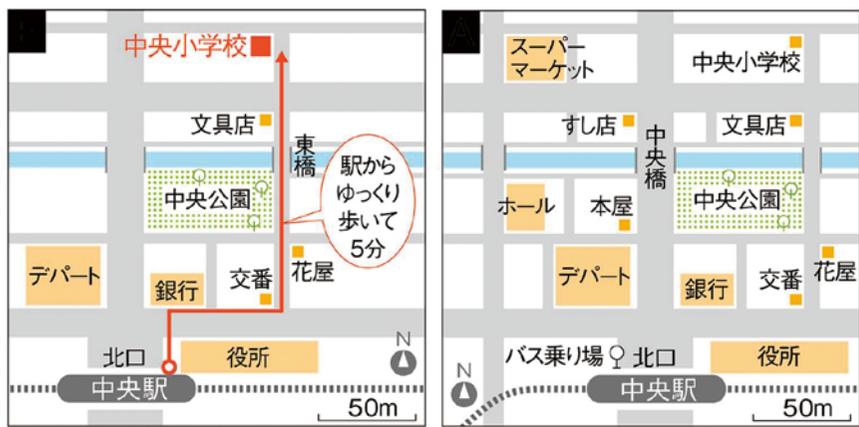
ここがポイント！
問い返して教材文に返らせる

子どもたちが自分の考えを話すときには、「できるだけ、「どこからそう思ったの？」「どこかに証拠はある？」と問い返すようにしています。

最初は問い返されてから根拠となる言葉を挙げていた子どもたちも、だんだんと自分から証拠を挙げて考えを話すことができるようになってきます。そうすると、同じ考えでも、「証拠が他にもあるよ」などと、多面的に文章を読んでいくことができるようになります。

それぞれの図がどんな立場の人にとってわかりやすいのかをみんなで考えていく中

しかけをつくることで、子どもたちの読み方が変わってきます。文章はもちろん、図や表の内容もしっかり読むことになります。



※2

で、教室からつぶやきが聞こえてきました。

児童N また「しかし」がある。AとBが

青山 Nさんが「また「しかし」がある……」と言っているね。その気持ちがわかる人はいるかな。

児童K 四段落目の最後に、「しかし、街全体の様子を知りたい人にとっては、十分なものではありません。」とあるから、(中略) AのいいところはBの図で欠けているし、BのいいところはAの図で欠けていると思う。

ここがポイント！
子どものつぶやきを逃さない

手を挙げるばかりが、授業に参加する態度というわけではありません。つぶやく、うなずく、首をかしげるといった反応を拾いあげると、周りの子ども反応します。そうした子どもの小さな反応を見ることで、どこまで理解しているかわかります。子どもの発言やつぶやきを受けて、「今の○○さんの気持ちがわかる人」と

発言者ではない子どもたちに問いかけます。四・五月は、発言している子の言葉を聞きながら、手を挙げていない子をどうやって授業に参加させていくか試行錯誤していく時期ですね。

Kさんの発言を受けて、子どもたちに問いかけます。

青山 Kさんが言ったこと、「自分の言葉で言えるよ」という人はいますか。

児童

Aの図は、目的地が決まっていない人にはわかりやすいけど、目的地が決まっている人にはわかりにくくて、Bの図は、目的地が決まっている人にとっては分かりやすいけど、Aみたいに目的地が決まっていない人にはわかりにくい。Aは、Bのものが欠けていて、Bは、Aのものが欠けている。

青山

児童

今のわかった？ 自分の言葉で言うことは、けっこう難しいんだよ。Aの図の例は、目的地が決まっていない人にはわかりやすいけど、目的地が決まっている人にはわかり

青山

りにくくて、Bの図の例は、(中略)だからAは……。

児童Y

わからなくなってきた？ これややこしいのよ。ヘルプのできる人AとBは長所と短所が逆になっていて、Bのわかりにくいところが、Aのわかりやすいところと同じになっているから……AはBの逆であり、BはAの逆であり……。

青山

みんなは、Yさんが「逆」って言っている意味わかった？ どうも第三段落と第四段落の例がセットみたいになっているね。言葉で説明してみると難しいね。

ここがポイント!



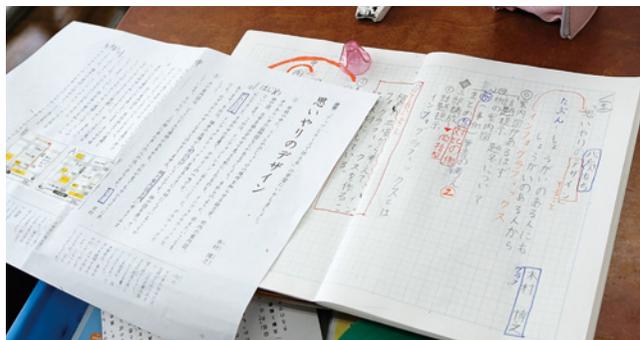
抽象度の高い言葉は、何度も自分の言葉で表現することで理解していく

Kさんの「AのいいところはBの図で欠けていて、BのいいところはAの図で欠けている」という発言から、子どもたちの説明の抽象度がアップしてきました。この単元で学習したい「対比」は、説明するときの常とう手段ですが、四年生にとっては、

2 文章構成をおかせる

青山

第五段落と第二段落は似ていると、一時間目に何人か言っていたね。第五段落に筆者の考えはあった？



児童

「相手の目的に合わせて、どう見えると分かりやすいのかを考えながらデザインする」というところ。「目的に合わせて」という言葉は、第二段落にはなかったよね。

青山

児童

「相手の立場から考えて」とあるよ。なるほど、「相手の目的」は、「相手の立場」と同じなんだ。「合わせて」は、「考えて」。ほぼ同じ。バージョンアップ結論。

青山

児童

両括型！(※3) ということは、何型かな。ということとは、第二段落と第三段落の間で区切れば、「初め」と「終わり」に筆者の考えがあつて、「中」に例がある、三部構成になるね。

3 対比の例示をおかせる

青山

AとBの両方の図を使って例を挙げていっているのどうして。例は一つでもいいんじゃないかな。

児童

第二段落に「必ず分かりやすくなるとはかぎりません。」とあるでしょ。それをAとBセットで説明している。

青山

そのときに、二つが際立つことを

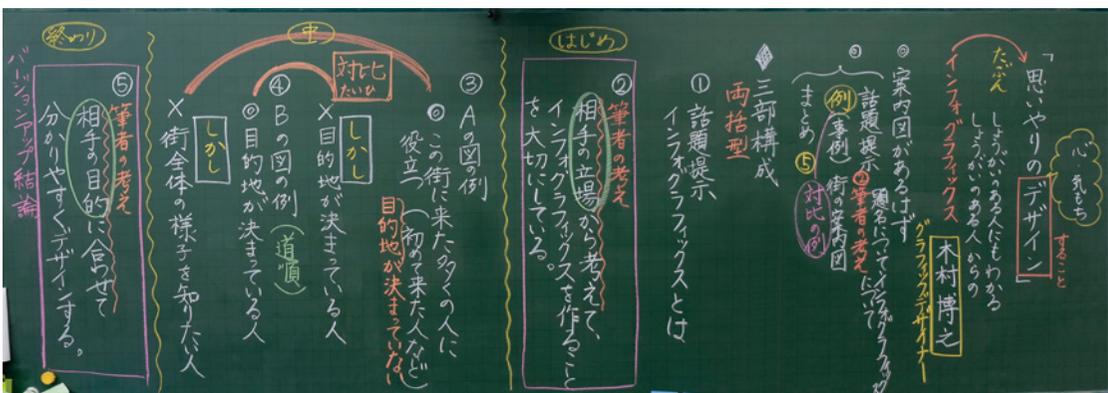
ここがポイント!



前後の単元も見通してポイントを見つける

対比といえます。前にやったよ。詩で出てきた。説明する文章にも「対比」が使えるんだね。「中」に対比の例を使った説明のしかた。そして両括型。この説明文は、ここがかつこよかつたね。

「言葉による見方・考え方を働かせる」とは、たくさんある言葉の中で何をキヤッチしたらよいか、手がかりになる言葉を見つける力を自覚化していくことだと思います。授業を構想するとき、単元ごとどの言葉に立ち止まらせるかを考えてしまうと、近すぎて見えにくくなります。その単元の中だけでなく、前後のつながりを意識して考えると、どんな言葉に立ち止まり、どのように表現していくか、ポイントがはっきりしてくると思います。他の学習場面や言語生活で使える力を積み重ねていくというイメージを大切にしています。



※3…青山先生のクラスでは、筆者の考えが初めと終わりにある文章を「両括型」とよんでいます。「双括型」という言い方もあります。

3 いっしょに学ぼう

◎ 日本語を学んでいる児童の学習参加 前編 「理解すること」を支援する

京都教育大学教授

浜田麻里



京都教育大学教授（日本語教育、異文化間教育）。文部科学省「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」委員（令和元年度）、文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザーなど歴任。

全員参加の教室を実現するために、さまざまな分野からいっしょに考えていく連載です。

日本語がわからない ＝授業に参加できない？

担任する学級に、日本語の習得が必要な児童が在籍する場合、先生方の中には「日本語ができない子に指名して答えられないと、かえって恥ずかしい思いをさせる。それより、授業とは別に一人でドリルをやってもらって、少しでも早く皆に追いつけるようにしたほうがよいのでは……」とお考えになる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、日本語がわからない児童は授業で何もわからない、何もできない、というわけではありません。母国や家庭でさまざまなことを体験し、一定の知識や能力を身につけているはずで、日本語学習の初期

の段階でも、助けを得て授業に参加し、すでもっている知識や能力を発揮できる機会を作りましょう。そうして、母国や家庭での学びと、日本の学校での学びをつなげ、日本で学ぶことの意味が感じられるようにしたいものです。

今回は、在籍学級の授業で、日本語を学ぶ児童の理解を支援する手立てを考えます。

今日からできる、 「理解」を助ける手立て

理解のための支援として、すぐに思いつくのは、教科書の学習内容を、その児童の母語に翻訳することですが、期待したような効果がないこともあります。例えば、「段

落」の概念そのものを知らない児童に、その訳語を伝えても理解は進みません。では、翻訳以外に、どのような手立てが考えられるでしょうか。

手立て① 視覚資料を活用する

児童がふだん見慣れていない事物を言葉だけで説明しても、理解するのは難しいので、実物や写真で示しましょう。デジタル教科書で見られる写真や映像を含め、さまざまな視覚資料を活用して、学級全体が参加できる活動を考えてみましょう。

また、文章中の言葉を動作化して確認することも、理解を助けます。

手立て② 児童の知識と結び付ける

その児童がすでに知っている内容と比べて関連付けたりすることで、理解を促進できることがあります。「○○さんの国ではどうでしたか。」「○○したことがありますか。」等、文章の内容とすでに知っていることを結び付けられるような問いかけをすると、理解の助けになります。

手立て③ トップダウンの読みの支援

「トップダウンの読み」とは、児童がすでに知っている知識等を手がかりに、文章全体の意味を推測する読み方です。

反対に、わからない言葉を一つ一つ確認して読み進めていくような読み方が「ボトムアップの読み」です。ただ、日本語を学んでいる児童にはわからない語が多すぎて、意欲を維持するのが難しくなります。そこで、知っていること、わかったことを手がかりに、わからないことを推測する「トップダウンの読み」が必要になるのです。

日本語を学んでいる子どもたちは、わからないことを推測することは日々行っている。推測は得意ですが、自分の知っている語彙をただつなぎ合わせて、当てずっ

ぽうで理解していることも多いです。

図や写真をよく見るように促したり、キーワードとなる言葉の意味や、接続詞の働き、文章構成等に注目させたりして、精度の高い推測ができるよう、支援しましょう。

手立て④ デジタル教科書を活用する

デジタル教科書には、すべての漢字のルビを表示する機能があります。知らない漢字の読みがわかるだけでも、学びの負担は大きく減ります。

さらに、指導者用デジタル教科書と各学年の学習指導書には、教材文を分かち書きにしたPDFも収載されています。分かち書きによって、語のまとまりをつかめれば、文章全体の内容を理解しやすくなります。

手立て⑤ 指示はやさしい日本語で

指示や発問は、シンプルにわかりやすくします。例えば、「このお話には、どんな人が出てきたか、わかるかな」よりも「このお話には、だれが出てきましたか」と、中心的な内容をストレートに伝えましょう。また、教材文を、その児童が理解できる

学級全体で学び合おう

児童が抽出で日本語指導を受ける時間は週に数時間で、それ以外のほとんどの時間を在籍学級で過ごします。自分が学級の一員として認められていると感じ、先生や友達と日本語で話したいという気持ちがあるならば、日本語を学びたいという意欲ももてません。

まずは、先生方がお手本となり、わかりやすい日本語を使って、積極的に働きかけましょう。周囲の子どもたちもそれをまねて、日本語を学ぶ友達に、仲間として手を差し伸べるようになるでしょう。日本語を学ぶ児童の理解が進むだけでなく、周囲の子どもたちも、どうすれば伝わりやすいかを工夫しながら学んでいきます。子どもたちにとっての「インクルージョン」や「多文化共生」は、高いところから降ってくるお題目ではなく、こうした地に足のついた日常体験の積み重ねではないでしょうか。



◀ デジタル教科書の体験版は、こちらからご覧いただけます。

文字を書く過程に 対する理解

広島大学大学院教授 松本仁志

文字を通して子どもを理解するポイントについて、
連載でお届けします。

本連載は、書写指導における「子ども理解」の方法や考え方について、次の三点からご紹介しています。

- ① 子どもの文字や書写の学習に対するメンタルの理解
- ② 子どもの文字を書く過程に対する理解
- ③ 子どもの書く(書いた)文字に対する理解

今回は、「②子どもの文字を書く過程に対する理解」を取り上げてお話しします。

① 横画のつまずき

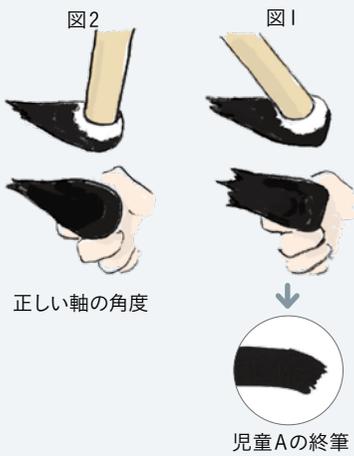
下の二つの横画は、毛筆教材「二」の学習の中で子どもが書いたものです。みなさんは、これを見て、どこ(何)を指導しようと考えますか。おそらく、次の部分につ

② 文字を書く過程を観察・把握する

では、児童AとBは文字を書く過程でどのようにつまづいていたのでしょうか。図1のように、運筆方向に対して逆に軸を倒して押すように書けば、筆と紙の接合面は、児童Aの書いた横画のように切れた形になります。切れた形が気に入らないからぐつと押さえる(上から筆圧をかける)と、今度は児童Bの書いた横画のようにこぶがで

きます。
児童Aの場合は、筆の軸の角度に対しての知識の不足、あるいは、知識があっても書くときに意識できなかったことがつまづ

筆の軸の角度と穂の形の関係



まずいていると判断したのではないでしょうか。

- ・ Aは、終筆部分が切れたような形になっている。
- ・ Bは、終筆部分が「こぶ」のような形になっている。

それでは、これらの部分について、どのように指導をしたらよいでしょうか。

「手本(教材文字)をよく見て書きましよう」とアドバイスする方もいるでしょう。しかし、子どもが自力で課題に気づき、試行錯誤しながら技能を習得するのは難しいかもしれません。「このように書くのですよ」と書き方を説明しながら、正しく示範してみせることも考えられます。教師が示範して見せているので丁寧な指導に見えるかもしれませんが、子どもは心の中で、「そ

きの主な原因だと考えられます。児童Bの場合は、こぶを取る指導と軸の角度の指導の両方が必要になるかもしれません。

このように、子どもがどのように書いているのかを観察し、どこでつまづいているのかを把握します。そして、それはどのような理由によるものなのかを判断したうえで、指導を考えていきます。

③ つまずきの原因を理解させる指導・発見させる指導

つまづきの原因を踏まえたうえで、まず考えられるのが、つまづきの原因を理解させ、そのうえで指導する方法です。例えば、児童Aに対しては、改善が必要な終筆部分を指して、「筆を押すように書くから軸が倒れてこのような形になる(図1)と原因を説明しながら書いてみせた後に、その比較対象として「やや手前に傾けた軸の角度をキープして書く」とこのように書ける(図2)と正しい書き方で示範してみせるのです。

また、こぶができる児童Bの場合は、筆圧のかけ過ぎとこぶの関係を書いてみせながら、こぶがでないように意識させればよいのです。



1964年、千葉県生まれ。専門は書写書道教育。光村図書小学校・中学校『書写』教科書編集委員。著書に『筆順のはなし』(中央公論新社)、『書くこと』の学びを支える国語科書写の展開』(三省堂)など。

うやって書いたつもりだけ書けないから苦労しているんだよ」とつぶやいているかもしれません。

字形と書き方(筆使い)は因果関係にあります。効果的に指導するには、書かれた字形だけに着目するのではなく、その子の書き方(筆使い)を理解することが、つまづきの原因の把握につながります。ここに、子どもの「文字を書く過程」に対する理解が必要であることの理由があります。



さらに、書き方(筆使い)を視覚的に比較させて、説明を加えない展開なども考えられます。「こうやって書いた場合と、こうやって書いた場合とを比べて、何か気づくことはありませんか?」と、つまづきの原因を子どもが発見するように導きます。視覚的な比較だけになるので、見るべきところを焦点化できるようにメリハリのある運筆動作の工夫が必要になります。

④ 原因の分析から効率的な指導を

「文字を書く過程」とは、点画単位でいえば始筆から終筆まで、一文字単位でいえば書き始めから書き終わりまで、語句・文章だったら文字群の書き始めから書き終わりまでをいいます。子どもの「文字を書く過程」をたくさん観察する中で、いくつかの傾向が見いだされれば、書かれた字形からどのような書き方(筆使い)をしたかが推測できるようになるでしょう。その傾向が、多くの子どもが共有する課題であれば教室全体に還元し、個々の子どもにすれば、限られた書写の時間で効率的に指導することができると思います。



◀ 板書例全体をこちらから
ご覧いただけます。



慣れない板書ですが、少しずつ書き慣れていきたいと思います。

④ 落ち着いて書く
小学生はノートに書く速度が遅いので、教師も焦らず丁寧に書きましょう。長い文になりすぎないように要点を短い文に整理すること、焦らず書くことができます。

③ 始筆と終筆を意識する
・始筆……「横画」はそのまま書きますが、「縦画」と、「左払い」、「右上払い」は、斜めにチョークの先を置いて書き始めます。毛筆で書いた場合でも、この三種類には少し始筆に押さえがあるからです。
・終筆……「とめ、はね、はらい」を意識すると丁寧に見えます。



Q 先生によって教え方が違うと、子どもがとまどわないでしょうか。指導のしかたは、どこまでそろえるべきなのでしょうか。

同じ単元でも教師によってそれを学習する場合として説明します。この授業の「ねらい」は「左右の部分からなる漢字を組み立てる方法（原理・原則）を知り、整えて書くことができるようにすることです。決して「林」という漢字のみを整えて書く方法を学習しているわけではありませぬ。

「林」という課題で「左右の組み立て方」を学習する場合として説明します。この授業の「ねらい」は「左右の部分からなる漢字を組み立てる方法（原理・原則）を知り、整えて書くことができるようにすることです。決して「林」という漢字のみを整えて書く方法を学習しているわけではありませぬ。

「きへん」と「木」を比べると、「きへん」は①横幅が短くなる、②横画が右上がりになる、③右払いが点に変化する（終筆を変化させる）、④縦画が横画に中心で交わっていない（右が短い）、⑤へんの右端をそろえるなど、五つの工夫が見えてきます。これは、「林」を書くときだけでなく、「きへん」、さらに言えば、左右の部分を組み立てるときの「全てのへん」の原理・原



教えて！先輩

未来の先生からの疑問をずばっと解決

第1回 四国大学文学部書道文化学科

太田剛先生のもとで学ぶみなさん

回答 藤井浩治

(元広島県尾道市立御調西小学校校長)



書写教育について学ぶ未来の先生たちの疑問に、藤井浩治先生がお答えする本連載。初回は徳島県吉野川のほとり、四国大学をたずねました。書道文化を総合的に探究できる書道文化学科には、教員や書塾の指導者を目指す学生が多数在籍しています。学ぶ学生からの疑問に、二回にわたってお答えします。

写真は、2年生の書写教育概論の授業の様子。「自分が書けることと教えることはまったく別のこと。子どもの意欲を喚起する楽しい指導方法を、自分なりに考えてほしい」という太田先生。



Q 板書の文字に自信がありません。上達するためには、どんなことに気をつければよいのでしょうか。



机に向かって書くときと違い、黒板のように立った姿勢で横から書写するのは、確かに難しいことですね。板書の基本についていくつか説明します。

① チョークはつまむように持つ

チョークは、指揮者のタクトのようにつまんで持ちます。軸を立てて書くと黒板へ接する部分が広くなり摩擦が大きくはじかれてしまうからです。タクトのようにつまむことで黒板に対して軸を倒し、接する部分を小さくして書くのです。また、折れやすいので、先に近い部分を持つようにします。

② 文字の大きさと配列に気をつける

書写の学習で学んだ「文字の大きさと配列」を活用します。漢字を少し大きく、平仮名を少し小さく書きます。また、行の中心に気をつけて書きます。「横書き」の場合は、加えて文字の下をそろえることを意識してみましょう。



Q 先生によって教え方が違うと、子どもがとまどわないでしょうか。指導のしかたは、どこまでそろえるべきなのでしょうか。

同じ単元でも教師によってそれを学習する場合として説明します。この授業の「ねらい」は「左右の部分からなる漢字を組み立てる方法（原理・原則）を知り、整えて書くことができるようにすることです。決して「林」という漢字のみを整えて書く方法を学習しているわけではありませぬ。

「林」という課題で「左右の組み立て方」を学習する場合として説明します。この授業の「ねらい」は「左右の部分からなる漢字を組み立てる方法（原理・原則）を知り、整えて書くことができるようにすることです。決して「林」という漢字のみを整えて書く方法を学習しているわけではありませぬ。

「きへん」と「木」を比べると、「きへん」は①横幅が短くなる、②横画が右上がりになる、③右払いが点に変化する（終筆を変化させる）、④縦画が横画に中心で交わっていない（右が短い）、⑤へんの右端をそろえるなど、五つの工夫が見えてきます。これは、「林」を書くときだけでなく、「きへん」、さらに言えば、左右の部分を組み立てるときの「全てのへん」の原理・原

次号は子どものやる気アップのコツと、水書板の活用についてお答えします。

太田 剛

四国大学文学部書道文化学科教授。朝鮮半島書道史、近世近代日本書道史、地域社会と学校との連携による書道教育について研究している。

藤井浩治

元広島県尾道市立御調西小学校校長。光村図書小学校・中学校『書写』教科書編集委員。



イラスト 川口澄子

次の漢字のうち、日本で作られたものはどれでしょう。

- ①京 ②静 ③枳 ④賀



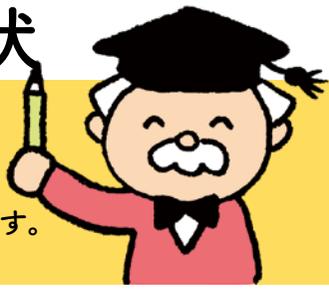
③枳

日本人が独自に作った和製漢字を「国字」といいます。たとえばイワシや、タイ、カツオ、マグロなどの魚は、中国古代文明の中心だった黄河にはいませんから、中国人がその魚を表す文字を作るはずはありません。しかし、日本ではそれらの魚を表す文字が必要だったことから、鰯・鯛・鯉・鮪という国字が作られました。国字には他に、中国の漢字を日本人が作りかえたものもあります。

深山に生える樹木のトチは、もともと「椽」と書きましたが、画数が多く覚えにくい漢字なので、日本ではいつごろからか、トチという発音に基づいて「十」と「千(ち)」と分解し、「十と千を掛けた」と万になることから、「枳」と書くようになりました。その「枳」の字形が、のちに「枳」に変わったと考えられています。



カンジー博士の挑戦状



カンジー博士から、小学校で学習する漢字に関するクイズが届きました。子どもたちにも話したくなる解説付きです。



解説

京都大学名誉教授
阿辻哲次 あつじ・てつじ
専門は中国文化史、中国文字学。著書に『戦後日本漢字史』(筑摩書房)、『漢字のはなし』(岩波書店)など。光村図書小学校・中学校「国語」編集委員。



②豊作

「年」は、何を表している形から生まれた漢字でしょうか。

- ①老人 ②豊作 ③時間 ④天体

時間の単位として使われている「年」は、「実った穀物を人が背負っているさま」を表し、本来は「穀物の豊かな収穫」という意味でした。
ウマやシカ、あるいは山や太陽など、目に見える形があるものは、それを絵画的に描いて象形文字とすることができますが、目に見える形がない抽象的な概念、特に時間や方向などを文字で表すことは、なかなか困難です。
そこで、古代中国人は、地球が太陽のまわりを一周する、英語では「year」と呼ばれる時間の単位を、穀物の収穫が年に一度であることから、「年」という漢字で表すようになったのです。



年

国語の妖精 コッシー LINEスタンプ 発売中!

光村図書オリジナルLINEスタンプが発売中です。本誌連載「なるほど国語指導」でおなじみの国語の妖精コッシーが、スタンプになって登場しました。先生ならではの内容も盛りだくさんの、元気で楽しいスタンプです。



国語の妖精
コッシースタンプ
はこちら



光村図書
LINE公式アカウント
はこちら



学びをわくわくさせるのは
デジタル教科書だ。



好評
発売中!

令和2年度版教科書準拠

光村図書 デジタル教科書 & デジタル教材

ラインナップ

学習者用デジタル教科書 [ユーザーライセンス]

- 国語 1～6年…各880円
- 書写 1～6年…各330円
- 道徳 1～6年…各550円
- 英語 5・6年…各550円

学習者用デジタル教科書+教材 [ユーザーライセンス]

- 国語 1～6年…各1,100円
- 英語 5・6年…各990円

指導者用デジタル教科書(教材) [学校フリーライセンス]

- 国語 1～6年…各26,400円 (1年間利用)
- 英語 5・6年…各20,900円 (1年間利用)

*価格はすべて税込みです。



表示ソフトウェアは、
「まなビューア」を
採用しています。



詳しい商品情報はこちら

小学校 国語教育相談室 102号 2022年4月1日発行

発行人 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話: 03-3493-2111
www.mitsumura-tosho.co.jp
E-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp

印刷所 協和オフセット印刷株式会社
デザイン mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては、弊社「個人情報保護方針」
にのっとり、適切な管理・保護に努めてまいります。
詳しくは、光村図書ウェブサイトをご覧ください。広報誌の
配送停止をご希望の方は、光村図書出版までご連絡ください。



光村図書